



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

# みしよ

No. 329

令和4年12月2日(金)発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141

<http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~misho/>

**せめるいい方**  
**あなたメッセージ**  
(つきはなす言葉)

あなた やめてよ!  
 あなた なんですの!  
 あなたとは もうあそばない



**すなおな気持ち**  
**わたしメッセージ**  
(つむがる言葉)

わたしは かなしいよ  
 わたしは つらいよ  
 わたしは なかよくしたいよ



## 学校は、失敗してもやり直せるところ

校長 後藤 正美

11～12月の生活目標は「相手の気持ちを考えて行動しよう」です。この時期は、友達とつい言い合ってしまったたり、人間関係で悩んだりすることが多いからです。

そこで、11月の全校朝会では、友達関係について話しました。私たち大人も、人から嫌なことを言われた時、何も言えずに黙って我慢することがあります。しかし誰でも、自分の気持ちを相手に伝える権利をもっています。思い通りになるかは分かりませんが、相手にきちんと伝えることは大切です。といっても、子供たちにとって自分の素直な気持ちを伝えることは、とても難しくなっていると年々実感します。嫌なことを言われると、ついつい相手を責める言い方をしてしまうようです。

「やめてよ!」「なんでそんなことをするの!」「もう遊ばないよ!」

こうした相手を責める言葉は、主語が「あなた」なので、『あなたメッセージ』と言います。相手を責めて、突き放す言い方ですね。そこで、以下のように言い方を変えます。

「そんなことを言われて悲しいよ」「今つらい気持ちだよ」「本当は仲良くしたいよ」

これは、相手を責めるのではなく、今の自分の気持ちを素直に優しく伝える言い方です。『わたしメッセージ』と言います。相手に文句を言うのではなく、自分の気持ちを伝えて、これからも友達とつながろうとしている言葉になります。

もし、嫌なことを言われたりされたりしても、黙っていては何も変わりません。

「私は嬉しくないです。」と、「わたしメッセージ」をきちんと伝え、友達としてその後もつながってほしいと話しました。

いじめが始まるきっかけの多くは、言葉と態度です。もっとはっきり言えば、嫌な言い方やこそこそ話、無視から始まるということがとても多いと実感します。そして、それに気付いている人が何もできずにどんどんひどくなり、やがて止められなくなります。516名の子供たちと57名の職員で、今まで以上に言葉を大切にする見附小にしていきます。学校は、失敗してもよいところ。やり直しながら学ぶところです。発達段階に応じたかかわり合いを通して、成長につなげる12月にしましょう。